

遠隔監視システムの導入推進を

水道セミナー in 香美

藤原氏が「小規模の運営」で講演

水道セミナー in 香美(主催 但馬上下水道事業協議会、協賛 小松電機産業・エナテクス、後援 水道産業新聞社など)が1日、兵庫県香美町で開催された。「行財政改革時代の水道事業」をテーマに、兵庫県の情報提供や藤原正弘・水道技術研究センター理事長の基調講演、Webによる上下水道監視の事例発表会・施設見学会が行われ、事業体や企業関係者ら約40人が参加した。

2町が事例紹介



兵庫県香美町でのセミナーには40人が参加



藤原理事長

兵庫県但馬地区の3市2町を構成団体とする但馬上下水道事業協議会は、安全で安定した上下水道サービスの提供に向けた研修を定期的に行っている。また、水道技術研究センターは厚生労働省の委託を受け、同地区などで「小規模水道の運営管理に関する調査」を実施しており、これらを踏まえてセミナーを開催した。

冒頭、谷垣敏夫・同協議会会長(養父市上下水道課長)が「今後の事業運営の参考に」とあいさつ。西田浩治・兵庫県生活衛生課長補佐が「兵庫県の水道施設状況」として、自治体の枠組みを越えた施設管理・水道経営統合の必要性などを説明した。

藤原理事長は「我が国の水道の抱える課題」と題して講演。小規模水道は運営基盤の強化に向けた統合管理を必要とし、

環境省、大阪商工会議所、関西環境管理技術センター、関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラムの4団体主催による「ベトナムにおける日本の排水処理技術普及のためのセミナー」が2月20日、関係者ら約200人を集めて大阪市中央区の大阪歴史博物館で開催された。

ベトナムは急速な経済成長に伴い、工場などの

あることなどが紹介された。また、田辺勉・小松電機産業大阪営業所技術マネージャーは「ICTを活用した水インフラ施設広域総合管理システム『やくも水神』として、来月から提供するリアルタイム監視機能などを披露した。

施設見学会は香美町の▽森浄水場▽境加圧ポンプ場で、参加者は『やくも水神』のコンパクトな監視通報装置などに高い関心を寄せた。

ベトナムは急速な経済成長に伴い、工場などの

ベトナムで排水

大阪商工会議所などが